



# 諏訪湖通信10号

平成31年4月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 諏訪湖に係る第7期湖沼水質保全計画 (平成29年度～5か年) が進められています

## 諏訪湖の水質情報をIoT技術で常時観測 産官学共同で試験を開始

### 諏訪湖に係る湖沼水質保全計画の経緯

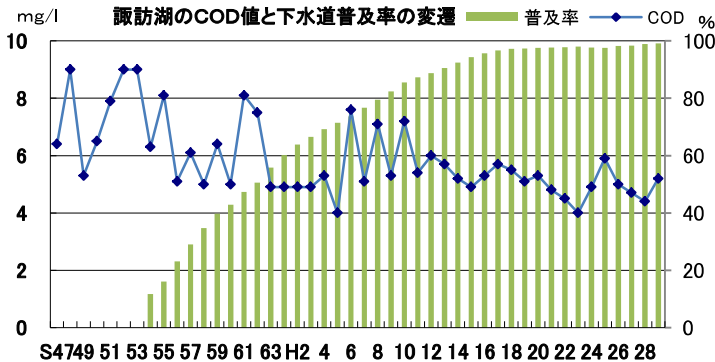
湖沼水質保全特別措置法(通称:湖沼法)(昭和60年3月施行)は、水質保全に関する施策を特に講ずる必要があるとして環境大臣が指定した湖沼について、県知事が定めた水質保全計画に基づき生態系の保全を含めた水質保全対策を総合的かつ計画的に進めることとしています。

諏訪湖は昭和61年に指定され、昭和62年度以降、5年毎に水質保全計画を定め、各種施策が進められており、現在7期目を迎えています。浄化に対する地域の意識の向上や、昭和46年から始まった下水道整備等により、水質はゆるやかに改善されてきています。

### 第7期湖沼水質保全計画の目標値

項目	目標値	平成28年度※	環境基準
COD	75%値	4.8	5.6
	年平均	4.4	4.4
全窒素	0.65	0.88	0.6
全リン	現状維持	0.05	0.05
透明度	1.3m以上	1.2~1.3	

※平成28年度は第6期諏訪湖水質保全計画の最終年度



## 諏訪湖でカヤックプロジェクトが始まります

諏訪市出身で、王滝村地域おこし協力隊として活躍されている井川竜太さんが、地元諏訪湖において、カヤックを使用した地域活性化の取組を進めています。ご興味をお持ちの方は、是非下記へアクセスしてください。



<https://camp-fire.jp/projects/view/130084>

## 推進会議構成団体紹介コーナー ① 特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議

長野県は「海なし県」です。でも、諏訪湖は天竜川に海につながっています。

私たち天竜川ゆめ会議は「治水」「利水」「環境」「住民の意識」の4本柱で“天竜川をゆめと誇りを持って次世代につなげる活動”を行っています。上流の諏訪湖周辺の住民の皆さんの意識、中流域の伊那市・飯田市などの住民の皆さんの意識、下流の磐田市・浜松市の皆さんの意識。住む場所によって「天竜川」に対する意識は違うでしょう。それでも、天竜川は私たちの「大切な宝物」であることには変わりありません。これから地域住民が中心となって、大切な天竜川を守り育てていきましょう。



写真-1 釜口水門周辺で岡谷南部中学校生徒会が主体となりアレチウリ駆除活動

代表理事組合長 福澤浩  
電話0265-83-7744  
(株)緑地計画内

諏訪市や金型成形の旭(諏訪市)、信州大学などが参加する産官学共同チームは、平成30年8月6日、すべてのモノがネットにつながる「IoT」の技術を使って諏訪湖の水質を観測する試験を開始したと発表しました。水温や溶存酸素量(DO)などを測定し、電波でサーバーに送信します。共同チームによると、諏訪湖の水質調査はこれまで、人手で現場測定するか、係留した測定装置を1~2カ月ごとに回収して調べていました。



写真-2 測定機器 (長野日報3月16日掲載)

今回の取組は、諏訪湖の沖合に装置を係留し、1時間ごとに水温やDO、濁度を無人で測定します。測定データは携帯電話の回線でサーバーに送る仕組みです。また、測定結果はホームページ上でリアルタイムに表示されます。これにより、遠隔地でも水質の変化を常時監視できるようになり、対策にも取り組みやすくなります。

【ホームページ】 <https://sss50.harmonia-cloud.com/>

## 第2回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催しました

- ・開催日時:平成31年3月12日(火)
- ・会場:諏訪合同庁舎講堂
- ・参加者:構成員および一般参加者 約70名



写真-3会議の様子

会議ではまず、諏訪湖クラブの沖野外輝夫氏が、本推進会議の会長として承認されたことが報告されました。その後、水環境保全部会、湖辺面活用・まちづくり部会と、2つのワーキンググループから、今年度の活動状況等が報告されました。また次年度の活動に向けた意見交換では、出席された皆さんから、諏訪湖への思いや、次年度の活動への抱負などを熱く語っていただきました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議も2年目に入ります。『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現に向けて、協働して取組を進めていきましょう。会議の資料は、以下の諏訪地域振興局ホームページでご覧になれます。また、第3回推進会議は5月27日(月)に開催予定です。

【諏訪地域振興局ホームページ】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-kikaku/vision/suisinnkaigi.html>

今後に予定しているイベントです	
● 5月18日(土) ~19日(日)	第42回信毎諏訪湖レガッタ 第20回全国ナックルフォア大会 主催:下諏訪町・信濃毎日新聞社・長野県ボート協会
● 5月26日(日)	諏訪湖及び河川一斉清掃 主催:諏訪地域6市町村ほか
すでに開催されたイベントです (3/15~4/30)	
● 4月13日(日)	諏訪湖開き 主催:諏訪市、岡谷市、下諏訪町
● 4月21日(日)	湖の驛プロジェクト第3回ミズベリング会議 主催:あつてもいいな夢工場

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。  
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



# 諏訪湖通信11号

令和元年5月21日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 釜口水門は、水門操作により下流への流量をコントロールし洪水を防ぎます

### ■釜口水門の歴史

諏訪湖には31の河川が流れ込み、天竜川に流れ出ています。古くから諏訪湖は、その地形的な特徴により、氾濫を繰り返していました。江戸時代から天竜川への出口(釜口)を広げる工事がされ、大正時代には釜口から下流約1.5kmの間の掘り下げ工事が行われました。昭和に入っても諏訪湖の氾濫は続いたため、天竜川をさらに掘り下げると同時に、水位を調整する目的で、初代「釜口水門」が建設され、昭和11年に完成しました。しかし、その後も水害は続き、昭和36年と58年に大きな被害がありました。

昭和48年に天竜川水系全体の治水計画が見直され、初代水門の約80m上流に放流能力の大きな新水門を造ることとなり、昭和63年に現在の2代目「釜口水門」が完成しました。

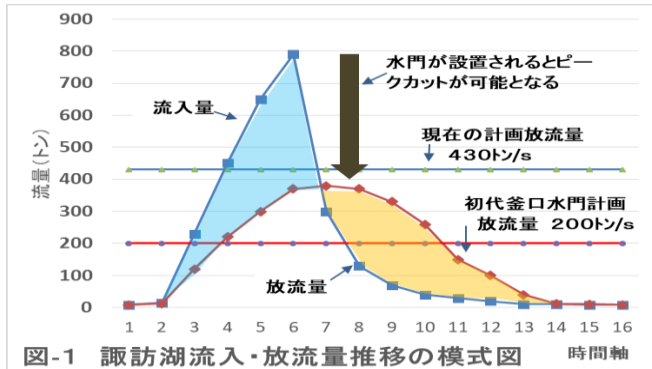


写真-1 初代「釜口水門」  
昭和11年完成

### ■釜口水門の役割

#### (1)洪水調節

将来(天竜川の護岸整備が完了したら)諏訪湖の計画流入量 1,600トン/sのうち1,000トン/sの洪水調節(最大放流600トン/s)を行います。当面、天竜川の改修状況に合わせ最大430トン/sの放流を行い、湖周辺及び下流の水害を防ぎます。



#### (2)流水の正常な機能の維持

下流天竜川沿岸の既得用水の補給等を行うため、諏訪湖の水位を季節ごとに管理しています。

### ■洪水調節の仕組みと洪水調節容量

#### ○洪水調節の仕組み

釜口水門の定められた操作規則に基づくゲート操作により洪水被害を防ぎます。現在は平成18年の洪水実績を踏まえ河川改修がされ、平成23年から430トン/s放流が可能となりました。

暫定放流量(トン/s)	
昭和11年	200
平成4年	300
平成13年	400
平成23年	430

#### ○洪水調節容量

洪水期のうち6/20~10/15の間は、諏訪湖の水位を常時満水位より35cm下げて、洪水調節容量(18,730千トン)を確保します。

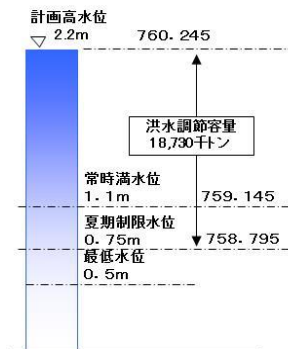


図-2 諏訪湖湖面管理計画図

## 諏訪湖の諸元

長野県では一番大きい湖ですが・・・

### ■諏訪湖の諸元 釜口水門リーフレットより

湖面標高	759m (参考:長野市 362m、松本市 592m)
最大深度	7.2m 平均深度 4.7m
貯水量	63,023,000m <sup>3</sup>
滞留時間	39日(参考:琵琶湖 2,000日、霞ヶ浦 200日)
流入河川	31 (一級河川 15、準用河川 5、普通河川 11)
流域面積	531.2km <sup>2</sup>
環境基準	COD 3.0mg/l 全窒素 0.6mg/l 全りん 0.05mg/l
常時満水位	759.145m

諏訪湖は、長野県内で最も大きい湖ですが、日本国内ではその大きさは23番目であり、最も大きい琵琶湖の面積の約50分の1です。

平成30年度に13年ぶりに実施した諏訪湖の湖底測量では、最大水深6.4m、平均水深が4.3mという結果となり、前回の平成17年の調査時と比べると、毎年平均で1センチずつ土砂などの堆積が進んでいることが分かりました。

諏訪建設事務所では、今後、流入河川のうち、砥川、上川、宮川などの土砂堆積が多い河川の河口部を中心に、治水しゅんせつを行う予定です。

## 推進会議支援団体紹介コーナー ⑧ あってもいいな夢工場

私達の団体は「こどもの夢、すわ湖で水遊びしたい」を叶えることを目的に2016年にスタートし、「水あそびのできる水辺づくり」の取組をしています。2017年から、岡谷市湊の人工なぎさで、手作業で水辺を整備し、子どもたちが水辺で遊べるイベントを行っており、今年も以下の日程で作業とイベントを開催します。皆さま、ぜひご参加ください！

### <作業>

日時:6/2(日)午前10:00より約1時間

(以降、毎週日曜日計画)6/9.16.23.30、7/7

場所:岡谷市湊3丁目(湊小学校・みなと保育園前人工なぎさ)

内容:小石等を移動します。(約1時間程の作業)

持ち物:スコップ又はジョレン

服装:水に濡れても良い格好(膝まで水に浸かります)

協力:花岡区・小坂区

### <うみのえきプロジェクト イベント予告>

日時:7/14(日)午前10:00~(豪雨の場合、7/15(月・祝)小雨決行)

親子でぜひご参加ください！(幼児のみの参加不可)

参加費:無料

内容:マス・うなぎの放流、つかみ取り

### 《お問合せ》

ボランティアプロジェクト あってもいいな夢工場 代表 花岡 潤

### 今後に予定しているイベントです

● 5月26日(日)	諏訪湖及び河川一斉清掃 主催:諏訪地域6市町村他
● 6月2日(日)	全国一斉水質調査 長野県内30グループ 366地点(2018実績)
● 6月2日(日)から	湖の驛(うみのえき)プロジェクト 作業 主催:あってもいいな夢工場

### すでに開催されたイベントです (4/15~5/19)

● 5月18日(土)~19日(日)	第42回 信毎諏訪湖レガッタ 第20回 全国ナックルフォア大会 主催:下諏訪町他
-------------------	--

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。  
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



# 諏訪湖通信12号

令和元年6月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 江戸時代~明治時代にかけての 諏訪湖出口の開削工事

11号で釜口水門による放流量を調節する仕組みを説明しましたが、今号はそれ以前の話です。

### ◆満水堀を開削 元和元年(1615)

高島城に戻ってきた藩主 諏訪頼水は、稲田を増やそうと諏訪湖の尾尻(現在の釜口水門)の右岸側に幅7.2メートルの新たな水路、満水堀を掘りました。これにより残された弁天島は幅18m長さ109mで、弁天社があり農家が4戸と畑がありました。(図-1参照)

### ◆新堀の開削 元禄2年(1689)

その後さらに、弁天島中央部を掘り下げ、新堀を整備しました。これにより「浜中島」ができました。(図-2参照)

### ◆浜中島の撤去 天保元年(1830)

当時22歳の伊藤五六郎は、高島藩に浜中島を撤去する案を提出し、許可を得ました。浜中島を掘り、その土を有賀村近くの湖岸に運び埋め立てをし、五六郎田圃と呼ばれる約6ヘクタールの水田を作りました。当時は大工事で延べ1万6千人と1カ年を費やして、完成しました。土を運んだ船の大きさは幅3m長さ15mと普通の漁船の約20倍もあり、人々からは「阿呆丸」と呼ばれました。

### ◆弁天島の撤去 明治元年(1868)

明治元年の諏訪湖の氾濫がきっかけとなり 見出14ヶ村(諏訪湖の南方に位置する村)は、時の諏訪藩主 諏訪忠誠に弁天島の撤去を願い出しました。

天竜川の立木を切ることで弁天島の撤去が見出14ヶ村の請負事業として行われ弁天島が撤去されました。



図-1 満水堀開削  
元和元年(1615)

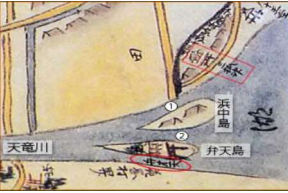


図-2 新堀開削  
元禄2年古図より



図-3 葛飾北斎作  
富岳三十六景(信州諏訪湖)1830年発行  
遠くに富士山が描かれ手前は弁天島です。

葛飾北斎は、LIFE誌が選ぶ「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」に選ばれた唯一の日本人。世界のゴーギャン、ゴッホ、セザンヌ、モネ、など多くの印象派画家に影響を与えています。

### ◆明治時代の諏訪湖の氾濫

記録が残っている明治16年から45年の間に諏訪湖の浸水被害が100haを超える回数は139回、年平均4.6回も起きています。水位が1尺(33cm)上がると約100haの浸水被害が発生しました。明治18年の水位上昇は1.9mもありました。

そこで、浸水対策として明治44年天竜川排水期成同盟会が設立されました。大正2年には天竜川のしゅんせつ工事が実施され、昭和7年に天竜川改修工事、釜口水門築造工事が着手され昭和11年に初代釜口水門が完成しました。

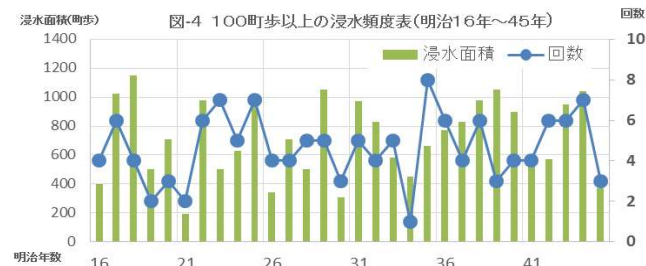


図-4 100町歩以上の浸水頻度表(明治16年~45年)

## 「諏訪湖を学ぶ~Vol.1」講演会を開催し 神々の湖の神秘を学びました

大勢の方が、私たちの宝である諏訪湖について、環境・文化・歴史・まちづくりなど様々な角度から学べるよう、「諏訪湖を学ぶ」と題した連続講座を開催していくこととし、今回第1回となる講演会を開催しました。当日は約100名の方にご参加いただきました。



写真1 当日の様子

記念すべき第1回は、八剱神社の宮坂清宮司様をお招きし、「神々の湖~諏訪湖の不思議~」と題して、諏訪の七不思議の一つである「御渡り(みわたりに御神渡り)」を入口に、諏訪地域の人々と自然との結びつきや、それによって育まれた歴史・風土などを学びました。貴重な写真や資料とともに、ユーモアに溢れ、また諏訪湖への愛が伝わってくる素晴らしいお話は、参加者からも大変好評で、「貴重なお話をお聞きできてよかった」等の感想をいただきました。次回は秋に開催予定です。ぜひご参加ください!

## 第3回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催 ~10月1日を諏訪湖の日に~

講演会に引き続き、令和となつてはじめての第3回諏訪湖創生ビジョン推進会議が開催されました。各構成員の取組の情報共有や、各ワーキンググループからの提案もあり、以下のとおり承認されました。

- 日時 令和元年5月27日(月) 14時30分~16時30分
- 場所 諏訪合同庁舎 5階講堂
- 出席者 約80名
- 議題



写真2 WGからの提案

- ・各組織の令和元年度の取組
- ・各ワーキンググループからの提案
- 承認されたこと
- ・諏訪湖の日を10月1日とし、概ね9月から10月を取組期間として、既存行事と連携しPRしていく。
- ・10月5日(土)諏訪湖一斉ごみ調査(仮称)を実施

## 「諏訪湖創生ビジョン」ロゴマーク募集!

「諏訪湖創生ビジョン」やその取組を、さらに多くの方に知っていただき、親しみを持っていただくため、「諏訪湖創生ビジョン」のロゴマークを募集しています。詳細は、諏訪湖創生ビジョンホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております!

応募資格: どなたでも

募集締切: 令和元年7月12日(金)

諏訪湖創生ビジョンホームページはこちらから

<https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-kikaku/vision/vision.html>



### 今後に予定しているイベントです

● 7月4日(木)、5日(金)、6日(土)	ヒシ除去作業 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議 ※6日(土)は、作業に先立ち水草学習会及び稚エビの放流体験を行います。
● 7月21日(日)~8月25日(日)(8/15除く)	諏訪湖サマーナイト花火 主催: サマーナイト花火実行委員会

### すでに開催されたイベントです (5/19~6/19)

● 5月26日(日)	諏訪湖及び河川一斉清掃 主催: 諏訪地域6市町村他
● 6月2日(日)	全国一斉水質調査 長野県内21グループ 242地点予定

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



# 諏訪湖通信13号

令和元年7月23日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 諏訪湖周サイクリングロードの整備を進めています

県では、岡谷市、諏訪市、下諏訪町とともに、「安全・快適」「健康・スポーツ」「観光」「環境」の4つを柱とした「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」を平成28年に策定しました。

また平成30年には20年後の諏訪湖の将来像とその実現のための道筋を示した「諏訪湖創生ビジョン」等の関連計画へも位置付け、それらに基づきサイクリングロードの整備を進めています。

8月には県道諏訪辰野線(ガラスの里前)の一部区間が完成し、8月8日(木)午前9時から開通セレモニーを行います。

### 《4つの柱》

「諏訪湖周サイクリングロード基本計画より」

安全・快適	安全に、誰もが無碍なく利用できる諏訪湖周のサイクリングスペースを整備します。
健康・スポーツ	ジョギングロードと有機的に連携し、誰もが気軽に健康増進が図れるサイクリングスペースを整備します。
観光	諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリングスペースの整備します。
環境	これまで行われてきた施設整備や水辺の環境整備方針と整合し、眺望を楽しめるサイクリングスペースを整備します。

## 交差する道路がない諏訪湖周サイクリングロードは安心して走れます

### ★諏訪湖周サイクリングロードの良いところ★

- ・自転車・歩行者・自動車の適切な分離により安心して走ることができ、自転車の交通事故の減少につながります。
- ・自転車を利用しての観光地巡りは行動範囲が広くなり地域の良さを発見するなど観光面の効果も期待されます。
- ・自動車依存の低減により、健康増進・交通混雑緩和等経済的、社会的効果に繋がります。



図-1 イメージ図 (諏訪湖周サイクリングロード基本計画より)

## 自転車通行空間の整備を進めることにより自転車による交通事故を減らします

日本では、自動車事故を減らすハード面ソフト面での取組が行われ、先進7ヶ国の中で事故率が1番少ないのですが、こと歩行者・自転車になるとワースト1となり、歩行者・自転車の安全性を高める取組が求められています。自転車の事故を無くすためには、自転車通行帯や自転車道の整備を進める必要があります。(国土交通省HPより)



## 長野県の自転車活用推進計画とその取組

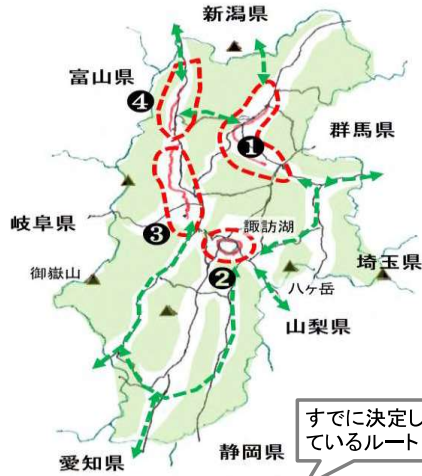
平成29年5月1日

- ・国土交通省は「自転車活用推進法」の施行
- ・自転車の活用を総合的・計画的に推進するための方向性を示す

平成31年3月22日

- ・長野県は「長野県自転車活用推進計画」を策定
- ・それぞれの目標に応じた各施策を実施

### ジャパンアルプスサイクリングロードルート(県一周サイクリングモデルルート)の設定



- ①千曲川サイクリングロード
- ②諏訪湖周サイクリングロード
- ③安曇野やまびこ自転車道
- ④北アルプスサイクリングモデルコース

### 5か年整備目標 2017→2022

目標① 自転車事故発生件数 928件→780件

目標② 自転車通行空間の整備 25km→180km

目標③ 道の駅(県管理) サイクルステーション化率 0%→100%

目標④ 自転車活用を政策に取り入れた市町村数 32→77市町村

## 推進会議構成団体紹介コーナー ⑨ ~諏訪湖周水路復活活潑あるきプロジェクト~

私たちの「諏訪湖周水路復活活潑あるきプロジェクト」は、その名のとおり、長いプロジェクト名ですが、この中に活動の趣旨が集約されています。湖周とりわけ、諏訪市内を流れている河川は江戸時代から水路として、灌漑・運搬・漁業などの要でした。いわば生活の中を流れていた動脈でしたが、もう一度かつての水路を水辺からの視点で、漕ぎ、また歩きながら「水郷の街」の復活を願い、カヤック・カヌーをツールとして隠れた魅力を探っていこうと思っています。

プロジェクトの活動状況は以下のURLでご覧になれます。

<https://www.facebook.com/groups/1322393144567133/>

《お問合せ》

「諏訪湖周水路復活活潑あるきプロジェクト」代表 百瀬 篤  
090-2220-3410



### 今後に予定しているイベントです (7/22~8/19)

●	7月27日(土)	信州自然エネルギーマルシェ 2019 in 諏訪 主催:岡谷酸素(株)自然エネルギー信州ネットほか 共催:長野県 場所:諏訪市文化センター
●	8月2日(金)	水産試験場夏休み特別開放 場所:水産試験場諏訪支場(諏訪郡下諏訪町6188-10)
●	8月6日(火)	夏休み・水の研究室 場所:クリーンレイク諏訪(諏訪市豊田1866-1)

### すでに開催されたイベントです (6/20~7/21)

●	7月5日(金)~6日(土)	ヒン除去作業 主催:諏訪湖創生ビジョン推進会議
---	---------------	----------------------------

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901

## 「諏訪湖の日」協賛事業・広告を募集しています

私たちの宝である諏訪湖に感謝し、守り、活かしていく機運醸成のため、諏訪湖創生ビジョン推進会議では、10月1日を「諏訪湖の日」とし、概ね9月から10月を取組期間として集中的に情報発信し、多くの方が諏訪湖に親しむ機会を作りたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、ご参加いただける、協賛事業・広告を募集します! 詳しくは、「諏訪湖の日」ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



皆様の力を合わせて、「諏訪湖の日」を盛り上げましょう!



# 諏訪湖通信14号

令和元年8月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



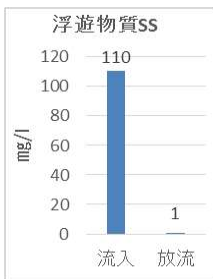
## 下水道の水をきれいにしてくれるのは 小さな生き物(微生物)たちです

クリーンレイク諏訪(豊田終末処理場)には1日約10万トンの下水が流入しています。下水は多くの微生物の活躍により約1日かけてきれいな水になります。(写真-1)

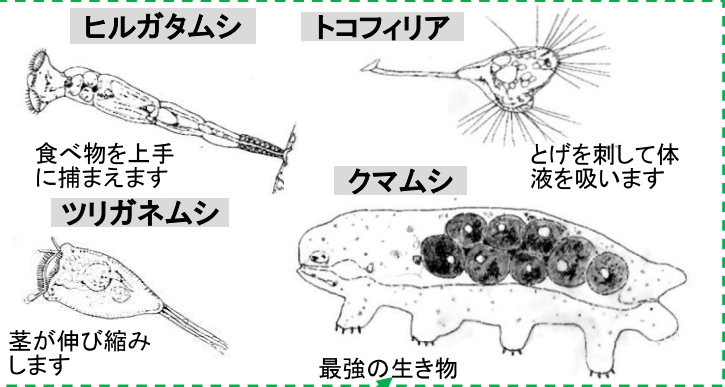
きれいになった水は、諏訪湖の湖底に敷設された管路により釜口水門手前で放流しています。この処理場が運転開始して今年で40年目を迎えました。下水道の整備により諏訪湖の水質は改善傾向となっています。



写真-1 流入水と放流水(右)



## 下水汚泥の中でみられる主な微生物たち



### ■最強の生き物「クマムシ」

熊のように歩くことからクマムシと名付けられました。土の中でも水中でも生活できます。休眠状態では乾燥や温度変化(約-273℃~151℃)にも強く、宇宙空間にさらされても生き延びます。研究者によるとクマムシ固有のタンパク質で身を守ることができるようです。

## 下水道エネルギーの循環・再資源化の取組

### ■汚泥の活用

下水道から発生する汚泥などの再資源化の取組が進んでいます。

- ① 汚泥を脱水することにより肥料化(木曽広域連合)
- ② 汚泥を焼却しセメントの原料にリサイクル(クリーンレイク諏訪)

### ■メタンガスの利用

汚泥の消化により発生するメタンガスをバイオマスエネルギーとして活用します。

- ① 汚泥の焼却用燃料
- ② メタンガスを使った発電(アクアピア安曇野)

### ■下水熱の利用

下水道管路から採熱した熱を諏訪赤十字病院に供給して、空調管理に利用しています。

■長野県では、「長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン」を策定し、2065年度の全エネルギー消費量の収支ゼロ(ZES)を目指して、取組を進めています。

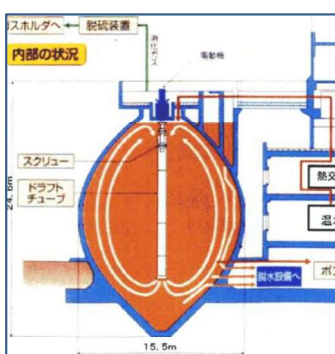


図-2 卵形消化タンク 大量のメタンガスが発生する

## 10月1日は「諏訪湖の日」 諏訪湖に感謝し、守り、活かしていく日に!

5月の第3回諏訪湖創生ビジョン推進会議において、10月1日を「諏訪湖の日」とすることを決定しました。

9月23日(月・祝)に制定記念キックオフイベントを開催します。

### ■諏訪湖の日について

#### ■制定の趣旨■

諏訪地域の宝である諏訪湖に感謝し、諏訪湖の恵み※1を将来にわたり持続的に享受していくため、諏訪湖を守り※2活かしていく※3機運の醸成の機会として諏訪湖の日を定めます。

- ※1 恵み・・・自然、景観など
- ※2 守り・・・浄化、美化、治水浸漉など
- ※3 活かす・・・観光、レジャー、学び、健康づくりなど

#### ■期 日■

10月1日

また、概ね9月から10月を取組期間として、「諏訪湖の日関連イベント」を実施します。

10月1日は、今年で40周年となる諏訪湖流域下水道が昭和54年に初めて供用を開始した日です。下水道の整備により、諏訪湖が浄化への第一歩を踏み出した記念すべき日なのです。私たちも、この歩みをさらに進め、「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる」諏訪湖を創っていかねばなりません。

9月23日のキックオフイベントでは、諏訪湖創生に取り組む団体の発表のほか、諏訪市出身のピアニスト佐田詠夢さんが登場し、故郷である諏訪湖への想いに乗せて素敵なピアノ演奏を披露していただく予定です。ぜひご参加ください。

また、9月~10月にかけて、さまざまな「諏訪湖の日」関連イベントが予定されています。ゴミ拾いなど、諏訪湖を美しくする活動はもちろん、カヌーやボートなどのアクティビティで諏訪湖を楽しむイベントや、「諏訪湖一周ウォーク」「諏訪湖マラソン」などおなじみのイベントも関連イベントとして実施されます。もちろん、静かに諏訪湖を眺めてゆっくりするのも素敵ですね。「諏訪湖の日」をきっかけに、多くの方がそれぞれの方法で、改めて諏訪湖について考える機会にさせていただきたいと思えます。詳しくは「諏訪湖の日」ホームページをご覧ください。



諏訪湖の日ポスター

<https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-kikaku/vision/suwakonohi.html>

今後に予定しているイベントです(8月20日~9月19日)	
● 概ね9月~10月	「諏訪湖の日」関連イベント取組期間 詳細は「諏訪湖の日」HPをご覧ください
● 9月23日(月)	「諏訪湖の日」制定記念キックオフイベント 場所: ホテル紅や ルビーホール
すでに開催されたイベントです(7月22日~8月19日)	
● 8月2日(金)	水産試験場夏休み特別開放 場所: 水産試験場諏訪支場
● 8月6日(火)	夏休み・水の研究室 場所: クリーンレイク諏訪

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



# 諏訪湖通信15号

令和元年9月24日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 諏訪湖周辺の清掃活動を支える 諏訪湖アダプトプログラム

諏訪湖では、「諏訪湖アダプトプログラム」として、諏訪湖全周を32区間に分け、この区間ごと活動団体(住民・企業・団体)が美化活動をしています。アダプトとは、養子にするという意味で、アダプト・プログラムとは「里親制度」のことです。地域の皆さんに、「親が子を育てよう」に、諏訪湖の美化活動に取り組んでもらおうというものです。

県では、その活動を支援するため、謝礼金、用具の貸し出し、傷害保険の加入をしており、地域の皆さんと県とのパートナーシップが形成されています。この取組は、平成14年4月にスタートし、1区間500mを2~3団体が担当しています。

また、上川の下流部も範囲となっています。



シンボルマーク  
岡谷市在住の藤森いずみさんの作品で八ヶ岳、諏訪湖、主要三河川を表現しています。

図-1 公募により決まったシンボルマーク

アダプトプログラムに参加すると、1期3年契約で、年間3回以上活動することになっています。現地にはその区間の担当がわかるように下記のプレートが設置されますので、諏訪湖畔に行かれた際は、ぜひ見つけてみてください。

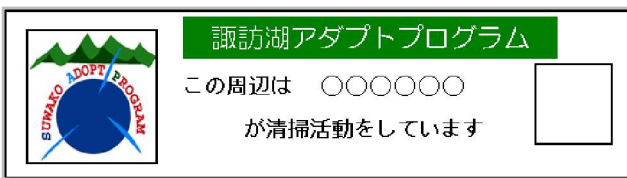


図-2 現地に設置されるプレート



写真-1 紅葉時期の清掃活動の様子



写真-2 桜をバックに清掃活動の様子

現在アダプトプログラムには、60団体が参加しています。すべての団体は紹介できませんが、美しい諏訪湖を守るために皆さん熱心に活動されており、小学生や中学生が参加している団体もあります。私たちの諏訪湖を私たちの手で守っていきたいですね。



- 21 文出区・文出育成会
- 22 小川区・小川育成会
- 24 有賀区・有賀子ども育成会
- 31 岡谷南部中学校

図-3 小中学生が担当する区間

## 10月5日(土)午前7時から(受付:午前6時45分~) 第1回「諏訪湖まるまるゴミ調査」を行います!

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、「ごみの無い諏訪湖」ワーキンググループにて議論を重ね、諏訪湖畔のごみの現状を調査し、得られたデータを集積、公表していくことにより、流域内にお住まい、お勤めの皆さまの関心を高めることで発生抑制につなげ、ごみの無い諏訪湖を目指すこととしました。

調査名「諏訪湖まるまるゴミ調査」は、今後継続していく中で、皆様に親しみを持って参加していただけるよう、構成員の皆さまから募り、その中から選ばせていただきました。

これまでのごみ拾いとは異なり、目視で確認できる小さなビニール片等も拾っていただきます。

今、世界的に海洋プラスチックも問題となっています。諏訪湖からマイクロプラスチック等のごみを流出させないためにも、現状を知り、みんなでごみの無い諏訪湖を目指しましょう。

事前の参加申し込みは締め切らせていただきましたが、当日参加も可能です。

是非、ご家族、ご近所、お友達、同僚の方々等お誘い合わせのうえ、ご参加ください。知らなかった諏訪湖の一面が見えてきます。

### 【集合場所等】

以下のURLにてご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/suwachi/suwachi-somu/pressreleases/31press.html>

## 諏訪湖創生ビジョンのロゴマークが決定!

諏訪湖創生ビジョンの取組をより親しみやすく伝えたいとの考えからロゴマークを公募したところ、諏訪地域はもとより県内外から61点のご応募をいただきました。

最優秀賞を受賞されたのは、静岡県静岡市のグラフィックデザイナー天野穂積さんの作品で、白鳥が飛来し、ワカサギやシジミが生息する豊かな諏訪湖を、擬人化した山が抱きかかえるようにした、親しみやすい、かわいらしいデザインです。山は、諏訪湖の周りの車山や霧ヶ峰、八ヶ岳などを表しています。選考は、諏訪湖創生ビジョン推進会議の構成員の投票などを経て、デザイナーを招いた最終審査会で決定しました。「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」というビジョンの目標を上手に表現しているデザインです。皆様もぜひご活用ください! 使用規程等は諏訪湖創生ビジョンHPからご覧ください。



今後に予定しているイベントです(9月24日~10月23日)		
●	10月5日(土)	諏訪湖まるまるゴミ調査 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議
●	10月20日(日)	「森里川湖そして人のつながりを考える~諏訪湖を学ぶvol.2」講演会 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議 場所: ゆいわーく茅野
●	10月末まで	「諏訪湖の日」関連イベント実施中 詳しくは「諏訪湖の日」ホームページをご覧ください!
すでに開催されたイベントです(8月20日~9月23日)		
●	9月23日(月・祝)	「諏訪湖の日」制定記念キックオフイベント 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議 場所: ホテル紅や

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



# 諏訪湖通信16号



令和元年10月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

## 諏訪湖に生息している水生昆虫たち

## 諏訪湖の日制定記念キックオフイベント開催

### ヤゴ

昆虫の幼虫の中には、成虫とは全く姿の異なるものが多いです。トンボは空中での生活に高度に適応した陸生動物ですが、その幼虫であるヤゴは、水中に生息する水生昆虫でもあります。トンボは蛹を経ず、幼虫が直接成虫に変態する「不完全変態」の生物なので、基本的には成虫とさほど変わらない構造をしているはずなのですが、ヤゴの外見はトンボとは大きく異なり、軽やかに空を飛ぶ成虫からは想像もできない姿をしています。ヤゴの多くは平たい形(ヤンマ型)をしていて、河底に生息し、発達した下あごを使って水生昆虫を捕獲する肉食です。諏訪湖にはいろいろな種類のトンボが生息しています。特に県レッドリストで絶滅危惧IB類に区分されている「メガネサナエ」というトンボの羽化が確認できるのは、全国で諏訪湖、琵琶湖と愛知県の一部のみです。

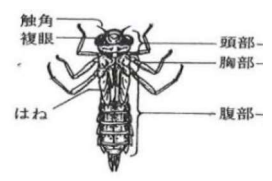


図-1 ヤンマ型



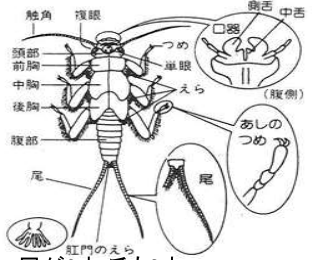
写真-1 イトトンボのヤゴ

イトトンボは細長い体形している小型のトンボで、水草の茎付近に生息しています。イトトンボ類のヤゴは、外見が一般的なヤゴとは明らかに異なり、頭部は左右に長い棒状で、体は前後に細長い棒状、あるいは管状で、幅広くはありません。足は細長く、それを使って歩きますが、全身をくねらせて泳ぐものもあります。

## きれいな水の中に住むカゲロウとカワゲラ

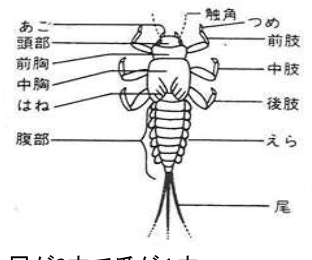
河川や湖沼では水質が汚れてくると、その程度によって生息する生物が変わってきます。この水生生物の棲み分けを利用して、各水域の生物の種類と数を調べ、汚れの程度を決める方法を生物指標といい、指標となる生物種を指標生物といいます。カワゲラやカゲロウは水のきれいなところに住む生物です。

### カワゲラ



- 尾が2本、爪も2本
- 前胸、中胸、後胸の区別が明確

### カゲロウ



- 尾が3本で爪が1本
- 背中の中の羽の形がわかり易い

### トビケラ



- 体形は円筒状のイモムシ形状で、左右3対の足がある。
  - 石の裏などにしっかり固定した巣を作る「造網型水生昆虫」
- 参考文献 「諏訪の自然観察ブック」諏訪教育会

■天竜川特産のザザムシ  
ザザムシと称される水生昆虫は、トビケラ、カワゲラ、ヘビトンボなどの幼虫の総称です。近年の天竜川では環境の変化によりトビケラが主になっており、ザザ虫の佃煮として市販されています。ザザ虫の材料となるトビケラは石の下に小石を集めて巣をつくり、水中を流下する微小な藻類等を巣の入り口に張った網で捕らえて食べています。諏訪湖から流出したアオコなども良いエサになっていました。

9月23日(月・祝)に10月1日の「諏訪湖の日」制定を記念して、キックオフイベントを開催しました！



写真-2 諏訪湖の日宣言の様子

当日は、台風の影響も心配されましたが、イベントの時間には雨もやみ、約250人と大勢の方にお越しいただきました。イベントでは、諏訪湖の日制定の検討ワーキンググループの横山代表から「諏訪湖の日宣言」が行われるとともに、「諏訪湖創生ビジョンロゴマーク」表彰式や、上諏訪中学校の皆さんや構成員を代表して(株)みのり建設さん、あってもいいな夢工場さんから諏訪湖創生の取組の発表がありました。そして、スペシャルゲストのピアニスト佐田詠夢さんの素敵なミニコンサートが諏訪湖の日を盛り上げました。参加者の方からは「今まで知らなかった諏訪湖のことを知りました。諏訪湖の日ができてよかった」「当たり前にあった諏訪湖は当たり前ではなく、私たちが育ててくれたことを改めて感じました。感謝を行動に移さ



写真-3 佐田詠夢さんの演奏



写真-4 構成員で記念撮影

ねば！」などのうれしい感想をいただきました。記念すべき令和元年のこのキックオフから諏訪湖創生に向けて新たな一歩を刻んでいきましょう！

## 諏訪湖まるまるゴミ調査を実施しました

去る10月5日(土)に第1回「諏訪湖まるまるゴミ調査」を行いました。当推進会議構成員及びアダプトプログラム登録団体そして一般参加者、延べ195名が5会場に集まり、17種類ごとにいくつあるかを、32のグループに分かれて調べました。拾った量は可燃ごみが260kg、不燃ごみが170kg。個数は全部で6,218個、そのうちプラスチック製品由来のごみは5,588個で、小さなビニール片、プラスチック片はその約7割を占めました。調査後のふりかえりの中では、「細かなごみが多くて驚いた。」「観光に影響がある。」「生態系に影響がある。」「また「とても良い取組なので、もっと周知してほしい。」等たくさんのご意見をいただきました。調査は、いただいたご意見を参考に改善し、今後も継続していきます。今回参加されなかった皆さま、次回は是非ご参加ください。なお、調査結果は近日公表予定です。



写真-5 調査の様子

今後に予定しているイベントです(10月22日～11月19日)	
● 10月26日(土)	天竜川の源流探検をしよう 主催: あってもいいな夢工場 場所: 岡谷市湊湖畔公園
● "	諏訪地区森林(もり)づくりの集い 主催: 下諏訪町、諏訪地域振興局ほか 場所: 「いずみ湖公園」下諏訪町町有林
● 10月27日(日)	第31回諏訪湖マラソン 主催: 諏訪圏健康推進協議会
すでに開催されたイベントです(9月24日～10月20日)	
● 10月5日(土)	諏訪湖まるまるゴミ調査 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議
● 10月20日(日)	講演会「森、里、川、湖そして人のつながりを考える」場所: ゆいわーく茅野

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



# 諏訪湖通信17号

令和元年11月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## メガネサナエ (トンボ) のモニタリングを実施しました

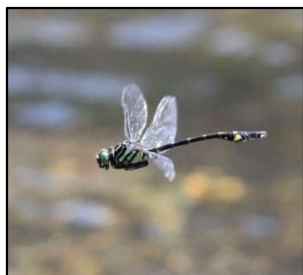
諏訪湖、琵琶湖及び愛知県の一部のみにしか生息が確認されていないメガネサナエ (トンボ) について、モニタリングを実施しました。

メガネサナエは、長野県レッドリストでは絶滅危惧ⅠB類に区分し絶滅の危険性が高いとされ、諏訪湖創生ビジョンにおいて指標水生動物に位置付けています。

8月20日、9月3日、20日の3日間、日本トンボ学会・信州昆虫学会所属の福本匡志さんにご協力いただき、繁殖場所である宮川で、ラインセンサス (一定区間を歩きながら目視で対象生物の出現数をカウントする調査方法) によりメガネサナエの個体数を調査しました。

また、モニタリングに先立ち行われた勉強会では、「トンボのレッドリスト種」「メガネサナエの生態と減少要因」「モニタリングの方法」等を学びました。減少要因としては、水質や土質の変化、外来魚による捕食、競合種との関係、羽化場所の減少、繁殖場所の環境変化等考えられますが、詳細は分かっていないということです。

引き続きモニタリングを継続的に実施するとともに、「多種多様な生き物を育む湖」の実現を目指し、生態系保全のための手法を検討していきたいと思えます。



## 2019クリーンレイク諏訪ふれあいまつりで、ヒシの有効活用の展示を行いました

諏訪湖で除去されたヒシは堆肥化され、流域内の農地などで利用されていますが、その他の活用は進んでいません。

しかし、他県では、ヒシを原料としたお茶や焼酎、お菓子などに活用されています。

そこで、ヒシの有効活用について皆さんに知ってもらうため、9月14日に開催された「2019クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」でパネルや実際にヒシを用いた製品等の展示を行いました。

また、展示と併せて、ヒシの活用の新しいアイデアやご意見についてアンケートを行いました。その結果、食品として用いることその他、ヒシアート、楽器、インテリア・装飾、キーホルダー、家畜の飼料、防犯砂利のように撒くなど、多くのアイデアをいただきました。また、「ヒシの実を食べるイベントをする」「諏訪湖のヒシが堆肥化されていることを知らなかった」「ヒシを有効利用していることを知らなかった」などのご意見をいただきました。今後もヒシの活用方法について調査・検討を進めていきます。



## サイエンスカフェ「諏訪湖を学ぶ~Vol. 2」を開催しました

10月20日に茅野市で「森・里・川・湖そして人のつながりを考えよう」をテーマに、気軽に講師と意見交換できるサイエンスカフェを開催しました。

まず環境保全研究所の本間部長、宮澤主任研究員から、諏訪湖の状況や課題について、次に、総合地球環境学研究所の奥田 昇准教授から琵琶湖の取組について話題提供がありました。奥田准教授率いるプロジェクトでは、琵琶湖に流れ込む河川の流域の住民と連携し「環境のものさし」として、「ニホンアカガエル」の数を目安に、環境保全の取組を行っています。指標となるカエルの数の「見える化」により、地域の自主的な取組を促進し、結果的に琵琶湖にも好影響を与え、生態系の回復などにつながっているそうです。まさに、森・里・川・湖そして人のつながりを実感する事例ですね。



琵琶湖の取組を紹介

話題提供の後は、宮原裕一水環境保全部会長の進行で、会場との活発な意見交換が行われ、参加者からは「諏訪湖と上流域の関係がよくわかりました」「琵琶湖の取組を諏訪湖でも参考にしたい」などのご感想をいただきました。今後も様々な切り口から諏訪湖を学ぶ予定です。次回もぜひご参加ください!

## 推進会議 構成員紹介コーナー⑩～諏訪市～

諏訪市では、市民や各団体のみなさんと共に、諏訪湖を守り、活かすまちづくりに取り組んでいます。10月1日が諏訪湖の日に制定されたことを受け、9～10月にかけて関連イベントを開催しました。9月22日(日)には、「諏訪湖一周ウォーク」を開催し、県内外から約1,200人が参加しました。参加者には諏訪湖の景色を楽しみながら、ウォーキングを満喫していただきました。また、10月20日(日)には、秋の全市一斉清掃と諏訪湖浮遊物除去作業を実施し、地域のみなさんと一緒に諏訪湖への日頃の感謝の気持ちを込めて清掃活動を行いました。



《諏訪湖一周ウォーク》



《諏訪湖浮遊物除去作業》

### 今後に予定しているイベントです(11月21日～12月19日)

●	12月1日(日)	ありがとう竜宮丸44年分の感謝祭 主催: 諏訪湖観光気船
●	12月14日(土)	すわ大昔フォーラム 主催: 諏訪市博物館・(一社)大昔調査会 場所: 諏訪市博物館 学習室

### すでに開催されたイベントです (10月22日～11月19日)

●	10月20日(日)	第31回諏訪湖マラソン 主催: 諏訪圏健康推進協議会
---	-----------	-------------------------------

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901





# 諏訪湖通信18号

令和元年12月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

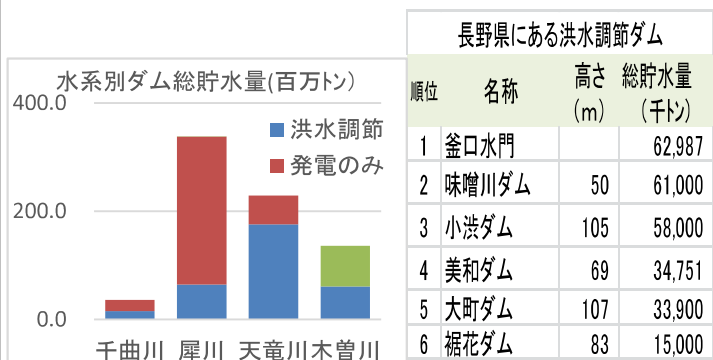


## 諏訪湖は天然のダムの役割を果たしています

今年10月の台風19号は、長野県をはじめ東日本の幅広い範囲に甚大な被害をもたらしました。多くの方が亡くなるとともに、家屋、リンゴなどの農業、観光など被害は広範囲に渡ります。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。

諏訪地域では、今回の台風による大きな氾濫などはありませんでしたが、一時は大勢の方が避難され、不安な夜を過ごしました。この地域は昔から、諏訪湖の度重なる氾濫の被害にあってきたため、江戸時代から天竜川への出口の工事などが行われてきました。そして、昭和の時代に、諏訪湖を天然のダムとして活用するため、天竜川に流れ出す水量を調節したり、諏訪湖の水面の高さを調節する目的で建設されたのが釜口水門です。

現在、長野県内にダムは49基ありますが、発電ダムなどが26基で洪水調節できるダムは23基です。東京電力などの発電ダムは、洪水調節機能を有していません。洪水調節をしてくれるダムの中で総貯水量では諏訪湖が1番です。



## 台風19号で群馬県ハツ場ダムが一昼夜で満水に

国が来春の完成を目指して、利根川上流の吾妻川で試験的に水を貯めていたハツ場ダム(群馬県長野原町)が、台風19号による大雨で、一昼夜でほぼ満水になったことが話題となっています。予定では、雨の少ない時期に3~4か月かけて水を貯め、ダムの安全性などを確認する予定でしたが、上流の嬬恋村田代で、年間降水量の3分の1相当、観測史上1位の442mmを観測する記録的な雨が降り、ハツ場ダムには11日午前2時から13日午前5時の間に約75,000千トの水が流入して水位が約54m上昇しました。この変わりように、大勢の観光客が人だかりになったそうです。

最近、今までの常識では考えられなかったような気候災害が頻発しています。県では、12月6日に「気候非常事態宣言」を出し、将来世代の安全を守るため、気候変動対策と災害に強いまちづくりを進めていくこととしています。私たちも、省エネなど、できるところから取り組むことが大切です。



令和元年10月2日の様子

13日後

令和元年10月15日の様子

## ミャンマー政府関係者と意見交換を行いました

10月31日、JICAの研修プログラムの一環により、ミャンマー連邦共和国政府の方が来諏されました。ミャンマーで2番目に大きな湖である「インレー湖」の課題解決のため、同様に高地にある諏訪湖の取組を視察した後、より良い湖沼管理について沖野会長はじめ推進会議関係者と意見交換を行いました。インレー湖では水質悪化、河川からの土砂の流入による湖面積の減少や、ジャンボタニシなどの外来種の侵入が課題になっており、水質悪化の要因として、浮き畑栽培などの農業に使われる農薬や肥料、工業・生活等の排水の流入などがあるとのこと。諏訪湖でも、高度成長期に、同様の理由から急激に水質が悪化しましたが、流域下水道の整備や、「よみがえれ諏訪湖」を合言葉にした官民一体の地道な取組で、ここまで浄化が進んできた歴史があります。

ミャンマーの皆様からは、流域下水道や、官民協働で取り組む諏訪湖創生ビジョンの仕組みを参考に、地域住民の理解を得て取り組んでいきたいとの話がありました。



諏訪湖畔を視察



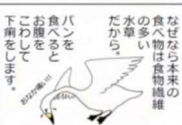
意見交換の様子

## 野鳥にパンをあげないで!

11月5日、諏訪湖に今シーズン初めてのコハクチョウの飛来が確認されました。11月の初飛来は5年ぶりで昨年より6週間ほど早いとのこと。今年も多く多くの白鳥が訪れるといいですね。湖畔で白鳥やカモなどを眺めていると、パンなどのエサをあげたくなりますが、実はこれは野鳥をいじめているのと同じことなのです。油分や添加物の多く含まれたパンを食べた野鳥は、お腹をこわしてしまいます。

県諏訪地域振興局では、例年野鳥へのエサやりの自粛を呼びかける看板を設置していますが、今年はわかりやすいイラストの看板(右)を岡谷市の横河川河口付近など3か所に設置しました。「人と生き物が共存」する諏訪湖を目指して、マナーを守って見守りましょう。

野鳥にパンをあげないで



### 今後に予定しているイベントです(12月20日~1月19日)

●	12月22日(日)	「サンタライド」自転車に乗ったサンタやトナカイがクリスマスプレゼントを配るチャリティーイベント 主催: 諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会
●	1月1日(水・祝)	諏訪湖遊覧船「初日の出号」出航 主催: 諏訪観光協会・諏訪市貸船組合

### すでに開催されたイベントです(11月21日~12月19日)

●	12月1日(日)	ありがとう竜宮丸44年分の感謝祭 主催: 諏訪湖観光汽船
●	12月14日(土)	すわ大昔フォーラム 主催: 諏訪市博物館・(一社)大昔調査会 場所: 諏訪市博物館 学習室

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



# 諏訪湖通信19号

令和2年1月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



## 謹賀新年 今年もよろしくお祈りします！ 2019年の主なできごとを選んでみました

- 1月 23年続いたオオワシ「グル」が飛来せず  
林正敏さんが献身的な介護をし、23年間連続で飛来していたオオワシ「グル」が、残念ですが昨年はやってきませんでした。一昨年は1月14日に飛来しています。
- 2月3日 諏訪湖御渡りが出現せず「明けの海」に  
諏訪湖の御渡りが見られず、八剣神社による「明けの海」が宣言されました。
- 3月11日 推進会議が「信州協働大賞」を受賞



諏訪湖の環境改善に対して、多様な事業主体が協働して諏訪湖の創生に取り組んだ実績が評価され、諏訪湖創生ビジョン推進会議が「信州協働大賞」を受賞しました。3月11日の授賞式には沖野輝夫会長が出席し阿部知事から表彰状の交付がありました。

- 5月27日 諏訪湖を学ぶ講演会「神々の湖 諏訪湖の不思議」  
私たちの宝である諏訪湖を、環境・文化・歴史・まちづくりなど様々な角度から学ぶことができるよう「諏訪湖を学ぶ」と題した講座を不定期に開催することとし、第1回は八剣神社の宮坂清宮司に「神々の湖～諏訪湖の不思議」と題して講演をいただきました。



令和元年 (5月1日より元号が令和に代わりました)

- 8月26日 諏訪湖創生ビジョンのロゴマークが決定  
諏訪湖創生ビジョンの取組をより親しみやすく伝えたいとロゴマークを公募したところ、61点の応募の中から静岡市の天野穂積さんの作品が選ばれました。白鳥が飛来しワカサギやシジミが息する豊かな諏訪湖を擬人化した山が抱きかかえる親しみやすいデザインです。



- 9月23日 諏訪湖の日制定記念キックオフイベント開催  
10月1日が「諏訪湖の日」に制定されたのを記念して、キックオフイベントを開催しました。約250名が参加され、「諏訪湖の日宣言」、上諏訪中学校生徒他の各団体の事例発表や、ピアニスト佐田詠夢さんのミニコンサートが行われました。また9・10月には様々な団体等により「諏訪湖の日」関連イベントが実施されました。



- 10月5日 「諏訪湖まるまるゴミ調査」を初めて実施  
第1回「諏訪湖まるまるゴミ調査」を行いました。推進会議構成員及びアダプトプログラム登録団体他195名が5会場に分かれてゴミを拾いながら種類と数を調べました。拾った数は6,218個、その内プラスチック製品由来のごみは5,588個と全体の9割を占めていました。拾った量は可燃ごみ260kg、不燃ごみ170kgでした。



- 10月31日 ミャンマー連邦共和国関係者と意見交換  
ミャンマー連邦共和国政府の関係者が、JICAによる研修プログラムにより諏訪湖創生ビジョンの取組を視察し、より良い湖沼管理について、沖野会長以下推進会議との意見交換を行いました。ミャンマーにある「インレー湖」の管理について、諏訪湖の取組を参考にしたいとの話がありました。



## 「諏訪湖の日」を記念し、初島にイルミ取付

昨年12月末、諏訪湖の観光・漁業関係者でつくる初島奉賛会などが、「諏訪湖の日」の制定を記念して、初島の鳥居にイルミネーションを取り付けました。恒例のしめ縄交換に合わせて、高さ3.7メートルの鳥居に、太陽光発電により、暗くなると赤く光るLED電球千個を飾り付けました。今年3月末まで点灯するそうですので、暖かい服装で、冬の諏訪湖をゆったり眺めてみてはいかがでしょうか。



作業の様子

## 「ワカサギ釣り」体験学習会を開催します (募集は締め切りました)

諏訪湖創生ビジョンに掲げる「諏訪湖の恵みを知り、育つ学びの場」の実現に向けて、諏訪地域の小学生などが、諏訪湖の冬の恵みである「ワカサギ釣り」体験や、環境学習を通じて諏訪湖の生き物や環境に理解を深めることを目的に、標記学習会を開催します！募集を1月20日(月)から開始したところ、すぐに定員となり、募集を締め切りました。たくさんのお申込みありがとうございました。

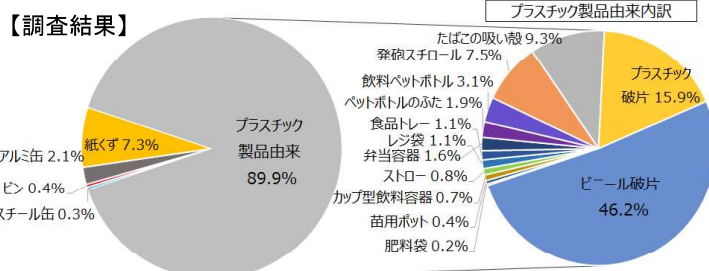
- 期日 令和2年2月15日(土) 7:50～10:30
- 対象 諏訪地域の小学生とその保護者 定員42名

## 第1回諏訪湖まるまるゴミ調査結果の活用を!!

諏訪湖全域で初めて実施したごみの調査結果は下図のとおり、全体のごみの9割がプラスチック製品由来のごみで、その内の7割が小さなプラスチック片、ビニール片でした。

プラスチックは紫外線や熱に弱く、劣化により細かくなり、31本の流入河川を通じ諏訪湖へ流れ込みます。プラスチックごみは身近な場所を点検し片付けることで減らすことができます。

この諏訪湖のごみの現状を流域にお住まい、お勤めの一人でも多くの方に知っていただき、関心を持っていただくことが発生抑制につながり、いずれ「ごみの無い諏訪湖」になると信じています。ビジョンが目指す「泳ぎたくなる諏訪湖」「誰もが訪れたい諏訪湖」にするためにも、皆さまにはこの調査結果を様々な場面で活用していただき、ごみの発生抑制に向け、ご協力をお願いします。



## 今後に予定しているイベントです(1月20日～2月19日)

● 2月1日(土)	アイスキャンドル2020 主催: アイスキャンドル実行委員会 場所: 諏訪地域6市町村 17時～点灯
● 2月8日(土)	第11回すわ大昔フォーラム 主催: 諏訪市博物館・(一社)大昔調査会 場所: 諏訪市博物館 学習室
● 2月15日(土)	諏訪湖を学ぶVol3「ワカサギ釣り体験学習会」 主催: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



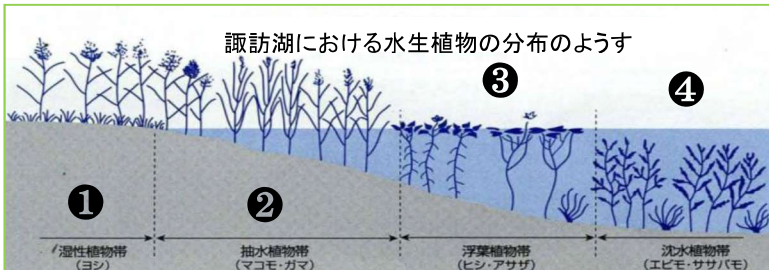
# 諏訪湖通信20号



令和2年2月26日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

## 諏訪湖に生息している水生植物を紹介します!

諏訪湖の沿岸で見ることができる植物は、生える場所によって種類が分けられます。主に岸辺に生える湿生植物、抽水植物、葉が湖に浮いている浮葉植物、水中に植物全てが沈んでいる沈水植物があります。代表的な植物をご紹介します。



### ① 湿生植物

#### ←ヨシ(イネ科)

湖岸・沼・河岸に群生します。高さは2mくらい、和名はアシですが縁起が悪いということでヨシと呼ばれています。花期は8月から9月、葦簾(すだれ)として日除けに使われます。

### ② 抽水植物

#### ミクリ(ミクリ科) →

湖岸、河岸や沼地に群生します。高さは人の背丈くらい、花期は6月～9月で花が栗のイガに似るためミクリの名がつけられました。マコモという植物とよく似ています。



### ③ 浮葉植物

#### ←アサザ(ミツガシワ科)

池や沼に生えます。茎は太いつる状。葉は円形か楕円形で長さ5cm～9cmで水面に浮かびます。花期は6月～8月、多年性です。



### ④ 沈水植物

#### ←クロモ(トチカガミ科)

茎は細長く伸びて、多くの節があり、そこに細長い暗緑色の葉が輪生します。侵略的外来種であるコカナダモと極似しているため注意が必要です。



### 近年の諏訪湖の水生植物について

最近の諏訪湖では、浮葉植物のヒシが目立ちますが、同じ水深の砂地ではエビモ、ササバモ、ヒロハノエビモ、クロモなどの沈水植物も生息しています。豊田終末処理場の前にはアサザの群落、宮川の河口部にはコウホネの群落が残っており、最近では上川河口左岸に再生しています。また、ミクリも洪崎、豊田、小坂地区にかけてや、水質汚濁の激しかった衣之渡川などにも再生しつつあります。沈水植物は生育可能域が水深4.5m以浅で、底質によって生育種が左右されます。水質の浄化が進んできたことで、豊かな植生が再生しつつあるようですね。皆さんも諏訪湖の岸辺でいろいろな植物を見つけてみてください。

## ワカサギ釣り体験学習会 (諏訪湖を学ぶ～Vol.3)を開催しました!

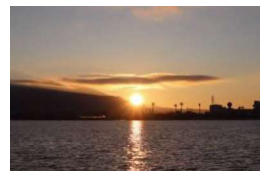
諏訪湖創生ビジョン推進会議では、今年度から、構成員や地域住民が、様々な角度から諏訪湖を学ぶ機会を作ることとして「諏訪湖を学ぶ」と題した講演会を開催しています。2月15日(土)には、第3回として、初めて地域の親子を対象に「ワカサギ釣り体験学習会」を開催しました。定員をはるかに上回るご応募をいただき、急きょ午後の部も追加、合計84名の小学生とその保護者にご参加いただきました。



まず、県水産試験場諏訪支場の田代技師を講師に、諏訪湖に浮かぶ遊覧船「すわん」の中で、諏訪湖の魚や水草、環境について学んだあとは、ボートに乗り換え、沖に浮かぶドーム船へ。穏やかな天気、諏訪湖で、2時間ほどゆっくりワカサギ釣りを楽しみました。残念ながら、釣果は今ひとつ...でしたが、参加者アンケートでは「湖上を船に乗って走るのは初めての体験で楽しかった」「初めて親子でワカサギ釣りを楽しんだ」「講義が面白く、諏訪湖のことがよく分かった」等、大変好評でした。今後も、多くの方々が諏訪湖を学び、親しむ機会を作っていきます!

## 推進会議構成団体紹介コーナー⑪ ～一般社団法人 諏訪観光協会～

令和二年の元旦6時50分に、令和最初の初日の出号が出航しました。遊覧船からは富士山を拝み、7時を過ぎた頃、今年も素晴らしい初日の出を見ることができました。昨年は平成最後ということで大勢の方々にご乗船いただきましたが、令和最初の今回も満員で出港いたしました。



諏訪湖からの初日の出

さて、今年には昭和51年に就航し44年間運航した竜宮丸最後の運航となり、ご乗船の方々からもねぎらいのお言葉をいただきました。春からは新造船スターマイン号が就航します。諏訪湖ではわかさぎを3月末ごろまでお楽しみいただけます。



新旧の遊覧船勢ぞろい

諏訪観光協会、諏訪市観光案内所では諏訪湖の魅力をしっかり発信して参ります。

どうぞ宜しくお願いします。

諏訪観光協会HP

<https://www.suwakanko.jp/>

### すでに開催されたイベントです(1/21～2/25)

● 2月1日(土)	アイスクヤンドル2020 主催:アイスクヤンドル実行委員会 場所:諏訪地域6市町村 17時～点灯
● 2月8日(土)	第11回すわ大昔フォーラム 主催:諏訪市博物館・(一社)大昔調査会 場所:諏訪市博物館 学習室
● 2月15日(土)	諏訪湖を学ぶVol3「ワカサギ釣り体験学習会」 主催:諏訪湖創生ビジョン推進会議

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。  
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



# 諏訪湖通信21号



令和2年3月23日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議

## 県環境保全研究所水・土壌環境部で行っている調査・研究をご紹介します

長野県環境保全研究所水・土壌環境部では、県内の水環境に関する様々な業務を行っています。今回は、諏訪湖に関する調査研究の中から主なものを紹介します。

### 1 貧酸素状態の調査

諏訪湖を含む多くの湖では、気温の高い夏期には湖底付近の酸素濃度が、魚介類が生息できないほど少なくなる貧酸素状態になることが知られています。また、2016年7月にワカサギの大量死が起きた際には、その一因として湖内の貧酸素状態が関係したと推測されています。そこで、当部では諏訪湖の貧酸素状態の実態を調査しています。

春から秋にかけて月1回、湖内21地点において酸素濃度の水深別の分布等を測定しています(写真1、図1)。

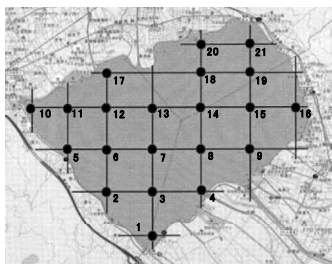


写真1 水深別溶存酸素測定器

図1 溶存酸素の測定地点図

### 2 底質の調査

底質(湖沼の底泥)は、湖沼環境に影響を与えていますが、その変化に関する調査例が少ないため、底質調査を実施しています。底質性状を把握するために、「不攪乱柱状採泥器」を用いて、底質を乱さずに採取しています。この装置の総重量は約15 kg程になり、操作も複雑であるため、船上での人力による作業はかなり大変です(写真2)。採取した柱状試料は、2cmの厚さの泥層ごとに窒素リン等の濃度を測定しています(写真3)。本調査は、信州大学と連携して実施しています。



写真2 底質の採取作業

写真3 採取した柱状試料

### 3 流入河川の調査

諏訪湖の状態を知るためには、諏訪湖に流入する河川の調査も欠かせません。現在、諏訪湖に流入する横河川等において、水位の連続測定を行っています(写真4)。また、全窒素濃度が比較的高い宮川流域の複数の支流の水量や水質調査を行っています。当部では、諏訪湖の実態を把握するため、今後も引き続き各種の調査研究に取り組んでいきます。



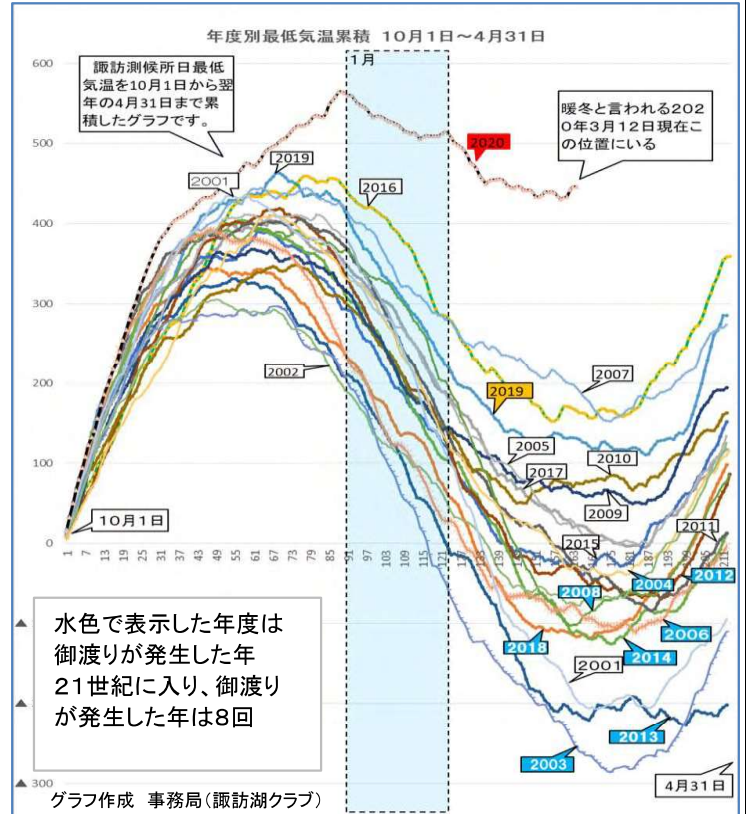
写真4 河川の調査の様子

## 今年の気温は異常に高く推移しました

今年も残念ながら御渡り(みわたり)はお預けです。

諏訪湖の御渡りを予測できないかと考え、気象庁の記録をもとに10月1日から翌年4月30日までの、1日の最低気温を累積したグラフを作成してみました。グラフが右下がりになるころから最低気温がマイナスになるのが例年の気温の動きです。2001年から20年間で「御渡り」が出現した年(水色に白字で表示した年)は、最近では2013、2014年など合計8回あり、いずれの年もほかの年に比べると気温が低いのがグラフから読み取れます。

このグラフに今年のデータを加えてみました(赤に黒字で表示。)驚いたことに今年(2020年)は2001年以降のグラフに比べて突出して高い位置で推移しています。地球温暖化による異常気象の結果でしょうか。少し心配です。



## 諏訪湖創生ビジョン推進会議は書面開催とします

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振っています。このような状況を踏まえ、3月に予定していた推進会議は書面開催(近く資料をお送りします)、水環境保全部会は中止とさせていただきますが、「人と生き物が共存し、誰もが訪れたい諏訪湖」を目指して来年度も各構成員が一層連携して取り組んでいくため、ご意見やご提案などがございましたら、ぜひお寄せください。来年度も引き続きよろしく願います。

※イベントの多くが中止となっているため、イベント等のお知らせは今回はありません。次回の推進会議は5月開催の予定です。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。

事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901